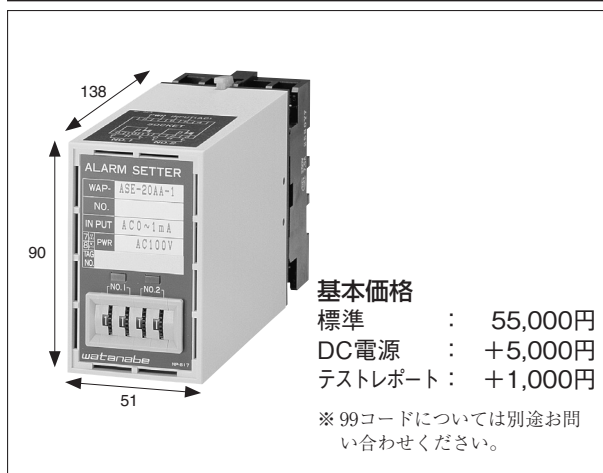




基本価格

標準 : 55,000円
DC電源 : +5,000円
テストレポート : +1,000円

※ 99コードについては別途お問い合わせください。

本器は、交流電圧または交流電流を入力とし、その入力値が予めセットされた設定値を超えると、リレー接点信号を出力するプラグイン形の警報設定器です。

上限、下限の設定値はデジタルスイッチによって個別にセットできます。また、出力信号は各1T(1ab)接点ですから、外部回路の構成が容易です。

特長

- 交流信号を接続するだけで警報回路を構成可能
- 設定が容易で確実なデジタルスイッチを表面に実装
- 上限、下限とも各1T(単極双投)接点
- DINレール取付、据置取付両用のプラグイン形

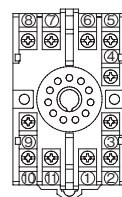
形式

WAP-ASE			電源電圧	
ASE	交流・センサラーム (絶縁)	真の実効値形	1	AC100V ±10% 50/60Hz
			2	AC200V ±10% 50/60Hz
			3	DC24V ±10%
			4	AC110V ±10% 50/60Hz
			5	AC220V ±10% 50/60Hz
			第1警報出力 動作区分	
			A	上限警報(異常時リレー励磁)
			B	上限警報(正常時リレー励磁)
			C	下限警報(異常時リレー励磁)
			D	下限警報(正常時リレー励磁)
			第2警報出力 動作区分	
			A	上限警報(異常時リレー励磁)
			B	上限警報(正常時リレー励磁)
			C	下限警報(異常時リレー励磁)
			D	下限警報(正常時リレー励磁)
			入力信号	
13	AC0~1V	1MΩ		
14	AC0~10V	1MΩ		
35	AC0~35V	1MΩ		
15	AC0~100V	1MΩ		
16	AC0~110V	1MΩ		
17	AC0~150V	1MΩ		
18	AC0~200V	1MΩ		
19	AC0~250V	1MΩ		
20	AC0~1mA	100Ω		
21	AC0~10mA	50Ω		
22	AC0~20mA	50Ω		
23	AC0~100mA	10Ω		
99	上記以外	お問い合わせください		

仕様

入力信号	交流電流/電圧
定格周波数	45~1000Hz
比較方式	アナログ比較方式
設定器	デジタルスイッチ設定 第1設定・第2設定独立(各2桁)
設定数	2点
設定範囲	0~99%、1%きざみ
設定精度	±1.0%fs
出力信号	リレー接点信号、接点構成1T(単極双投)
リレー接点容量	AC250V・5A(Cosφ=1)、DC30V・5A(Max.) DC5V・10mA(Min.) 定格負荷にて10万回
リレー寿命	±0.5%fs
再現性	0.3%fs(固定)
ヒステリシス	500ms(0~90%)
応答時間	LED 第1警報: 緑色、第2警報: 赤色
動作表示	−5~+60℃ 90%RH以下(非結露)
使用温湿度	±0.015%fs/℃
温度特性	100MΩ以上(DC500V)
絶縁抵抗	入力-第1警報-第2警報-電源各端子間相互 AC2000V 1分間 入力-第1警報-第2警報-電源各端子間相互
耐電圧	約3VA(AC)、約70mA(DC)
消費電力(電流)	±0.1%fs(定格電圧内)
電源電圧の影響	

外形寸法	90(H)×51(W)×138(D)mm
質量	約400g
構造	プラグイン(本体部とソケット部で構成)
結線部位	ベースソケットのM3.5セムスネジ部
端子ネジ材質	鉄に亜鉛メッキし三価クロメート表面処理
ケース色・材質	本体部: アイボリー色・耐熱性ABS樹脂 ソケット部: 黒色・PPO(ノリル)樹脂
取付方法	DINレール取付または壁面取付
外形図	外形寸法図Ⅲ-5参照
端子配列	



No.	記号	内容
1	No.2 OUTPUT	C 第2 警報信号
2		L
3		H
4	NC	空端子
5	INPUT	~ 入力信号
6		~
7	POWER	U(+) 電源
8		V(-)
9	No.1 OUTPUT	C 第1 警報信号
10		L
11		H

センサラーム・解説①

動作区分の選定

本器の電源が停電した時に、出力接点が安全サイドに入るように、用途に応じて動作方式を選定してください。

●加熱の場合の例

非通電時に下限接点がONになる動作方式を加熱制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より低いものとみなされて、ヒータが動作し続けてオーバーヒートを招きます。従って、加熱の場合は、停電時に上限接点がONになる動作方式を選定してください。

●冷却の場合の例

非通電時に上限接点がONになる動作方式を冷却制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より高いものとみなされて、クーラが動作し続けて過冷却を招きます。従って、冷却の場合は、停電時に下限接点がONになる動作方式を選定してください。

接点動作説明（代表例）

●センサラーム

上限警報（異常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	A	リレー接点出力 (上限)			

下限警報（異常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	C	リレー接点出力 (下限)			
					

上限警報（正常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	B	リレー接点出力 (上限)			
					

下限警報（正常時リレー励磁）

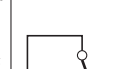
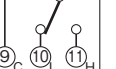
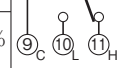
電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	D	リレー接点出力 (下限)			

●極性付直流センサラーム(ASB)、偏差アラームセッタ(ASH)

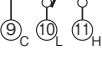
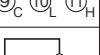
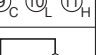
上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	A	設定値>0% 上限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 正常時 リレー励磁			

下限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	C	設定値>0% 下限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 異常時 リレー励磁			

上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	B	設定値>0% 上限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 異常時 リレー励磁			

下限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	D	設定値>0% 下限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 正常時 リレー励磁			

※偏差アラームセッタ(ASH)には、動作区分BおよびCはありません。

センサラーム・解説②

接点動作説明（代表例）

● アナログ出力付センサラーム

上限警報（異常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	A	リレー接点出力（上限）	

下限警報（異常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	C	リレー接点出力（下限）	

上限警報（正常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	B	リレー接点出力（上限）	

下限警報（正常時リレー励磁）

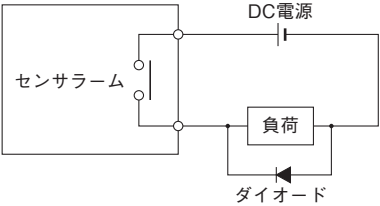
電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	D	リレー接点出力（下限）	

接点保護とチャタリング防止

誘導性負荷（DCモータ、コイル等）を駆動する場合は、リレー接点の保護とチャタリング防止のため、下図に準じた方法で対策を施してご使用ください。

● 直流電源の場合

負荷に並列ダイオードまたはCR火花消去器を接続してください。



● 交流電源の場合

負荷にバリスタまたはCR火花消去器を接続してください。

